



現行LMSから遥かに進化！

学習管理システムの新ステージ『xSTAGE』のご紹介！！

株式会社ジンジャーアップ
コンサルティングセールス部
2023年 5月 10、11、12日

DXを加速!



未来のトビラをあける

xSTAGE

エクステージ

xAPI/cmi5完全準拠！
LRSと一体化したプラットフォーム型
次世代LMS

多様な学習経験履歴を
LRSに統合して活用

一目でわかる
進捗状況

わかりやすさと使いやすさを追及
管理者、受講者にとって使いやすいインターフェース

さまざまなシステムの学習経験を**共通形式**に
独自で不統一なデータも xAPI で相互運用可能

社内 **DX 推進** に最適なシステム
各アプリケーションとの API 連携により有機的に連動



新LMS『xSTAGE』を、現行のLMSとの比較をしながら、わかりやすく便利機能を紹介いたします！

パート① 基礎編：LMS機能における進化ポイントのご紹介

パート② 応用編：コンテンツサーバの活用 / マルチテナント運用のご紹介

6つの進化ポイント！



- ① 役割に特化した新しいロール
- ② 新規格も扱えるコンテンツ管理機能
- ③ 時代にあった高セキュリティなID管理・ログイン機能
- ④ 「ダッシュボード」画面で、よりわかりやすくなった受講者画面
- ⑤ 「コミュニケーション」機能が充実
- ⑥ 「デザイン設定」でインターフェースの色の組み合わせが変更可能

LMSに関わる役割(ロール)について

現行LMSは主に「受講者」と「管理者」の2つのロールだったのに対し、**xSTAGE**では主に5つのロールにわかれ、それぞれに権限が付与されます。



管理者
システムを管理する人

オーガナイザー
法人管理者と法人を管理する人

法人管理者
法人管理を行う
コース登録を行う

講師
受け持つコースの管理を行う

トレーナー
上司、グループ全体の管理、承認などを行う

受講者
eラーニングの受講ができる

受講者
eラーニングの受講ができる

保護者(学校・塾向け)
受講者の進捗確認ができる

※企業や学校によっては、別の名称の方が分かりやすい場合があるため、ロールの名称は管理者権限で自由に変更可能。



<新しいロールの考え方>

今まで、管理機能は全て「管理者」というロールに集約され、権限の有無で辛うじて役割分担がされていました。

xSTAGEでは、これまでの管理者と同様の操作ができる「法人管理者」に加え、成績管理に特化した「講師」「トレーナー」というロールがあるため、よりシンプルに**分散運用**がしやすくなっています。

※もちろん、これまで通り、「法人管理者」だけで運用して頂いても構いません。

新しい役割(ロール)のメリット

講師 (例：教材作成担当向けのロール)

自分が受け持つコース(教材)を軸に、それに割り当たっているグループのユーザの成績を閲覧が可能。

受講者はコース内のチャプター単位で教材を指定して、ダイレクトに担当講師に質問する機能がある。

トレーナー (例：会社の場合は部署の上司や教育係、学校の場合は担任の先生向けのロール)

自分が受け持つグループ(組織)を軸に、そこに所属するユーザの成績を閲覧可能。

チャット機能で自分が受け持つ受講者の相談にもこたえられる。

<ロール分離のメリット>

上記2つの新しいロールは**成績閲覧**と**受講者とのコミュニケーション**しか行えません。

逆を言うと与えられていない機能は表示もされていないので、

求められる役割に専念してeラーニング運用に関わることが出来ます。

新しい規格のコンテンツが使用可能！

● 現行LMS：SCORM1.2（2001年に制定された履歴管理の世界共通規格）

○ 新LMS『xSTAGE』：cmi5（2016年に制定された履歴管理の世界共通規格）

SCORMは2001年制定のため、デバイスをPCしか想定していなかった。

対して、cmi5はスマホ・タブレットなどが普及した後の2016年制定の規格のため、マルチデバイス対応が前提とされているため、**新しいデバイスでも最適に受講**ができます！

<よくあるご質問>

Q. xSTAGEは、これまでのSCORMで作られたコンテンツは使えない？

A. xSTAGEの同梱機能「コンテンツマネージャー」にて、SCORMコンテンツもcmi5規格に変換し、使用可能です！

Q. cmi5コンテンツはどうやって作る？

A. PPT資料は、iSpringなど、cmi5に対応している市販のオーサリングツールで変換ができます。

PDF資料は、xSTAGEの同梱機能「コンテンツマネージャー」にて変換が可能。（次ページで詳しく紹介します）

お手持ちのPDFが学習しやすいスライド教材に自動変換！

- 現行LMS：PDFは元ファイルのページ構成に関わらず、1枚の画像として表示
⇒そのため、開いた瞬間に「修了（見終わった）」とLMSは判定していた。

○新LMS『xSTAGE』：PDFを複数ページのスライド教材化！

…受講者が任意のタイミングでページをめくり、最終ページ閲覧後に出てくる「終了ボタン」を押すことで「修了」の判定がされるため、履歴管理可能な受講教材として使用できます。

コースにタグを設定し検索性を向上！

- 現行LMS：コースにタグのような属性を付ける機能は無い。

○新LMS『xSTAGE』：コースにタグ付け可能！ 属性を付けて、管理者画面での検索性アップ！

受講者のセキュリティ向上

受講者

- 現行LMS：管理者が、受講者のパスワードを管理者権限で変更可能。
- 新LMS『xSTAGE』：管理者も、受講者のパスワードを閲覧・変更が不可。
- ☆ セキュリティ強化のため、
xSTAGEアクセスのパスワードは受講者一人ひとりで管理いただく方式となっております。
修正を行う際も、パスワードヘルパーを利用して受講者自身で行っていただきます。

管理者のセキュリティ向上

管理者

- 現行LMS：IDとパスワードのみ
- 新LMS『xSTAGE』：アプリ^(※)を用いた「二段階認証」を標準機能として実装！
※アプリはスマホ用やPCブラウザ用など複数に対応するので、管理者は自分にとって使いやすいものを選択可能。
- ☆ このような多要素認証は ISMS, ISO27017や、ISMAP等の必須要件となっております。
xSTAGEではこれらの機能により、お客様のセキュリティをお守りいたします。

自分の学習全体の進捗が一目でわかる「ダッシュボード」

受講者

● 現行LMS：TOP画面はコース一覧画面 各コースの受講率をグラフで、受講ステータス(未履修・履修中・修了)をアイコンで表示。

○ 新LMS『xSTAGE』：TOP画面は学習状況全体を把握できる「ダッシュボード」

チャット

お知らせ

ダッシュボード

お知らせ

スケジュール

コース

チャット

質問

掲示板

アンケート

設定

ヘルプ

田中太郎

ログアウト

カレンダー

2022/04 ~ 2022/05

月	火	水	木	金	土	日
25	26	27	28	29	30	1
ISMSハンドブック						
情報セキュリティ講座						
ハラスメント防止講座						

他1コース

全体の学習状況 (履修率)

40%

すべてのコース >

10% ISMSハンドブック
2022/04/01~2022/05/31

10% 情報セキュリティ講座
2022/04/01~2023/03/31

10% ハラスメント防止講座
2022/04/01~2023/03/31

10% ビジスマナー講座
2022/04/01~2099/03/31

メッセージ

田中太郎

11:00

おすすめの教材はありますか？

チャットを開く >

コースの質問・回答

コース名

チャプター名

回答済み 2021/01/04 11:00

コースの質問 >

お知らせ

5月27日(金)16:00~18:00 システムメンテナンスをいたします

2021/04/01

お知らせ >

- ・全体の学習状況グラフ…割り当たっている全てのコースの進捗率を合算してパーセンテージで表示。
- ・カレンダー機能…受講期間中のコースが一目でわかります。
- ・新着通知…チャットやお知らせに新着があるとランプがついて見落とし防止になります。

ロール別のコミュニケーション機能が充実

受講者

円滑なコミュニケーションに便利な機能搭載！

● 現行LMS：「お問い合わせ機能」にて受講者から管理者にお問い合わせ可能。

※ただし内容に関わらず、当機能の権限を持つ全管理者にお問い合わせが届く。

○ 新LMS『xSTAGE』：受講者と成績確認ロールとの**コミュニケーション機能が強化**されています。

- ・ **チャット**（受講者 ⇄ トレーナー）・・・受講者の直属の上司や担任の先生とやり取りできます。
- ・ **質問**（受講者 ⇄ 講師）・・・チャプターに紐づいて、ダイレクトに担当講師に質問できます。
- ・ **掲示板**（受講者 ⇄ 受講者 + 講師）・・・講師が立てた掲示板内で受講者同士のやり取りが可能。

チャット画面

質問画面

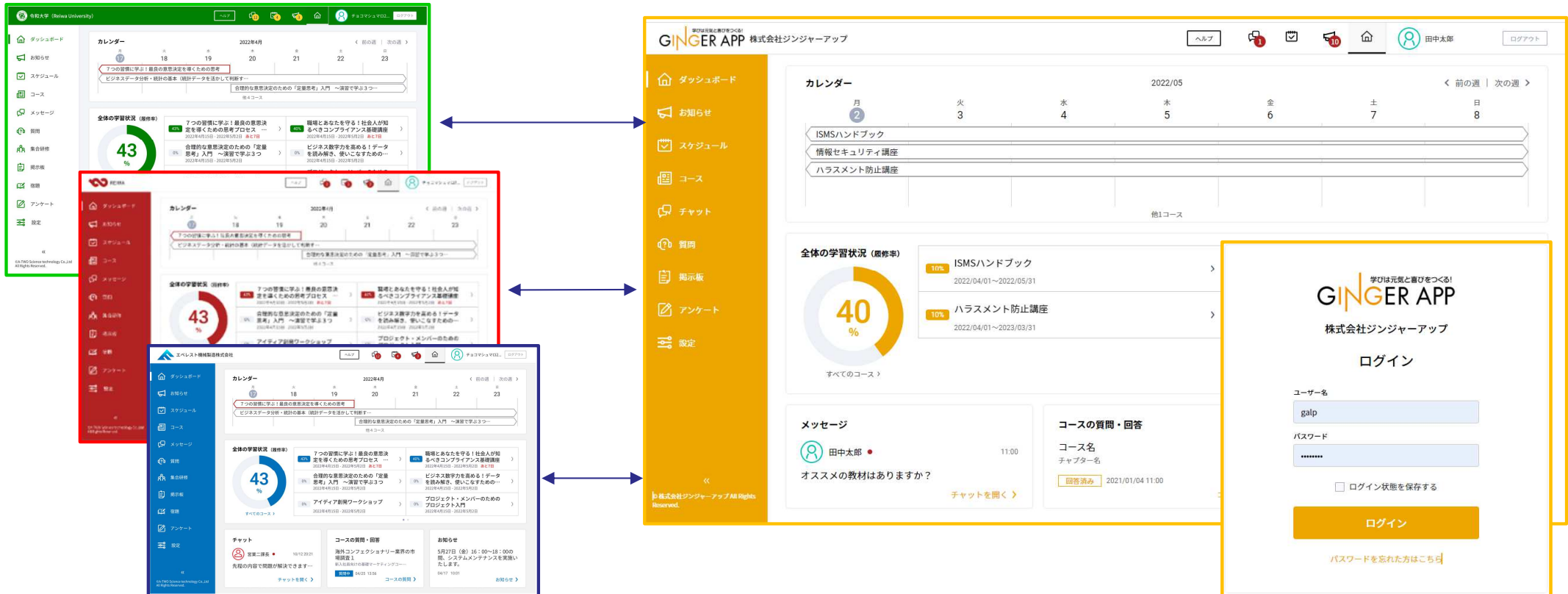
ステータス	質問者	教材・コース名	質問送信日時	質問詳細
回答済み	田中太郎	1.15MSとは ISMSハンドブック	2023/01/04 11:00	質問詳細
回答済み	佐藤花子	1.15MSとは ISMSハンドブック	2023/01/04 11:00	質問詳細

機能紹介：デザイン設定変更機能

法人管理者

● 現行LMS：管理者自身で変更できたのは、ロゴマーク画像の差し替えのみ。

○ 新LMS『xSTAGE』：コーポレートアイデンティティに合わせたインターフェースのデザインカスタマイズ！
ロゴ画像を自社のロゴに変更できるのはもちろん、
色見の組み合わせも管理者画面で変更が可能です！



応用編

～コンテンツサーバ活用～

■ 従来型LMSとは全く異なる次世代の構造

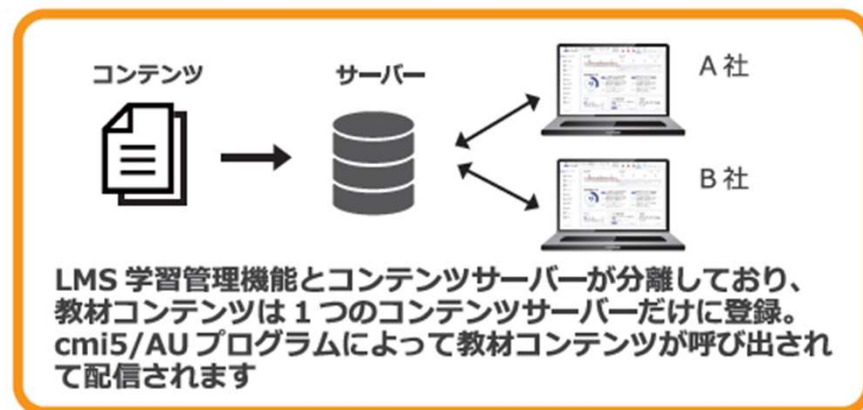
● 現行LMS：eラーニングに必要な機能がすべて1システムの中に存在する構造

○ 新LMS『xSTAGE』：「学習機能」「教材コンテンツ管理機能」「学習履歴管理機能」が分離独立し、それぞれ連動する構造



■ 分離構造のメリット

- ・ 分離構造のため、トラブル発生時の問題の切り分けがわかりやすい。
- ・ 外部に保存されているコンテンツにオンラインにて接続して、コースとして設定し、履歴管理が可能。
 - 複数のLMSに同じコンテンツを配信することも簡便となります。
 - 共通教材を使いたいホールディングスや、自社コンテンツを配信したいコンテンツベンダーに便利です。



コンテンツのアップロード回数を **1回** に！ 工数の大幅削減！

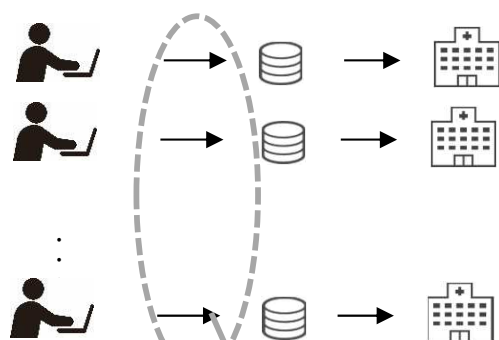
複数環境を運用する場合

- 現行LMS：コンテンツを新規登録する際、各LMS環境すべてに同一コンテンツを環境の数だけ、アップロードしなければいけません。

○ 新LMS『xSTAGE』：同一コンテンツのアップロードは「**1回**」だけになります。

現行LMSで複数環境を運用

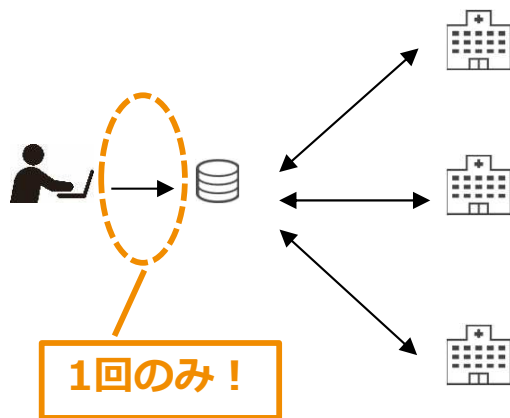
アップロードは、LMSの数だけ



計 n 回
(環境の数分)

xSTAGEで複数環境を運用

アップロードは **1回** のみ！



各環境のLMSが同じコンテンツを参照し、受講します。
※但し、新規コース登録は、各法人の環境で
設定ファイル(コンテンツの参照先)の読み込みが必要。

導入効果

コンテンツのアップロード回数が

1回 に！

大幅な工数削減につながります！

さらに、教材差し替えのみ更新の場合は
設定ファイルの再設定も不要です。

応用編 ～マルチテナント運用～

● ビジネス・クラウド（1環境利用）※現行LMSも同様

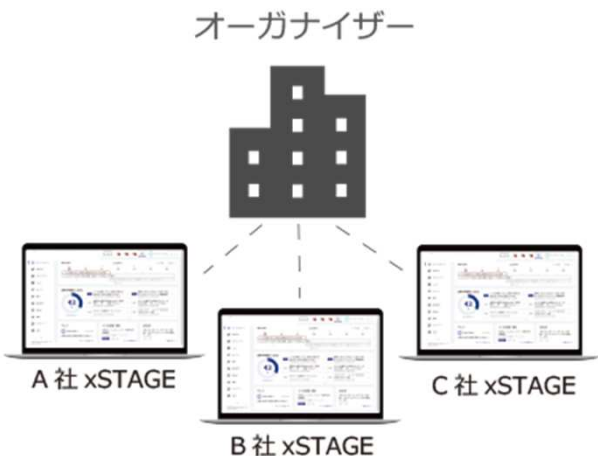
クラウド上の共通基盤にお客様専用の環境を構築

- ・ 小～中規模向け
- ・ 社内教育など、単一組織向け

● マルチテナント（複数環境管理）

クラウド上の専用基盤に複数の環境を構築できるプラットフォームを用意いたします。

- ・ ホールディングスなど大規模団体向け
- ・ 1法人1環境とすることで独自のeラーニング実施が可能。
- ・ お客様は「オーガナイザー」権限にて全環境に関与できます。



大規模で複数の運用ができるマルチテナント

複数の会社などで独立して利用される
各xSTAGEを総合して管理する
マルチテナントにて、大規模な展開が可能です。

統一システムの利用により、導入における調達手続きの大幅簡略化

これまで、官公庁がeラーニングシステム(LMS)導入する際、**各省庁や組織ごとに入札などの調達手続き**を行っており、落札結果により導入元が変わるため、それぞれ異なるベンダーのシステムを使用していることが多かった。**(データ共有は機能的にも不可)**



某省庁は、**xSTAGE (マルチテナント)**を採用いただいております、LMSを希望する省庁からの要請を受けて新テナントを作成し、提供することで、**個別に調達する手間を省き、統一されたシステム**を利用できます。そのため、**データの一元管理と利活用**を行うことが出来るようになっております。

<マルチテナント環境導入により某省庁が実現したこと>

- 各省庁は**他の省庁とは別環境**としてLMSを利用可能 (各省庁で完全に独立した教育を実施)
- 各省庁LMSは設定により、許可された他の省庁の教材コンテンツを呼び出して利用可能
- 某省庁が運用している事業のオプションとして環境を用意するため、各省庁は**調達手続きなどを行うことなく**利用可能
- SSOに対応をしているため、**各府省庁によるIDパス管理は不要**
- 同事業で共通で使用されているADに登録されているユーザと所属組織については、その情報に基づいたユーザ登録がされるため、**各省庁でユーザー・グループ管理は基本的に不要**

xSTAGE

※小規模運用向けのプランもございます

- ・**新しい規格**に則った機能を活用したい。
- ・**セキュリティ**を向上させて、eラーニングを運用したい。
- ・受講者自身で、自分の受講状況が**一目でわかるインターフェース**を提供したい。
- ・よりシンプルで、分かりやすい**役割分担**で運用したい。
- ・**コミュニケーション機能**を活用して、受講者を手厚くフォローしたい
- ・自社のコーポレートイメージに合った**カラーを設定**したい。

xSTAGE (コンテンツサーバ活用)

- ・関連会社や協力組織に**共通のコンテンツを配信**したい (ホールディングスや大規模団体向け)
- ・自社の教材やノウハウを**外部に配信**したい (コンテンツベンダー向け)

xSTAGE (マルチテナント運用)

- ・複数の組織(顧客、ホールディングスの子会社など)に eラーニングシステムを提供し、それぞれの**独立運用**させると同時に、**一括管理**や、**共通教材の一括配信**がしたい。

該当するご要望のある方は、是非xSTAGEをご検討ください！！

ご清聴頂き、ありがとうございました。